

平成8年秋季特別展 開館5周年記念

中国 仙人のふるさと

山東省文物展



考古学セミナー

時間：午後2時～4時（全席1時よりの定席）
場所：1階ホール

第1回 10月13日(日) 中村徹也 中村徹也 山東省の考古学

第2回 10月27日(日) 中村慎一 山東省の先史文化

第3回 11月24日(日) 樋口隆康 春秋～漢代の青銅器

第4回 12月8日(日) 大庭 脩 漢代史研究と考古資料


※全回参加者には修了証と記念品を贈呈致します。
●本館学芸員による展示解説/毎週日曜日と休休日（午前11時/特別展示室）

特別 音楽で中国文化を語る 11月17日(日) 午後2時～ 關杰、山本玄山、岡久佳代

10月12日(土) ～12月8日(日)

■開館時間：午前10時～午後5時（入館は4時30分まで）
■休館日：毎週月曜日（ただし11月4日は開館、11月5日は休館） ■入館料：個人＝一般800円・高大生600円・小中生・65歳以上は無料、団体＝一般640円・高大生480円（団体は20名以上） ■所在地：〒594 和泉市池上町443 TEL 0725-46-2162 ■交通：JR阪和線天王寺駅から25分「信太山」駅下車徒歩7分、南海本線「松ノ浜」駅下車徒歩20分

主催/大阪府立弥生文化博物館
山東省文物事業管理局
朝日新聞社・朝日放送
財団法人大阪21世紀協会
協賛/ANA 全日空

 大阪府立弥生文化博物館

華やかな文物を今に伝える中国古代文明。大陸に隣接する日本が、その文明と無関係ではありえません。直接に、あるいは朝鮮半島を通じて東アジア世界とつながっていたのです。

弥生文化博物館では、開館5周年を迎えた記念特別展として中国山東省の文物展を企画いたしました。山東省は中国大陸の東にあり、
 黄海に突き出した山東半島は朝鮮半島そして日本とも近い位置にあります。
 わが国の弥生時代の初め頃、山東省には齊と魯という二つの国が栄えていました。

とくに齊国は、西方の秦に対抗する大国として東方世界に独自の文化を築いていたのです。

今回の特別展では春秋戦国時代から漢代まで、つまりわが国の弥生時代と同時期の文物を紹介し、山東古代文明の珠玉をご覧いただくとともに弥生文化との関係についても探ってみようと思います。



●齊の王墓【四王塚】(戦国時代)

覇と礼楽 [春秋戦国時代]

諸侯が互いに覇を競った春秋戦国時代はまた、孔子が活躍し礼が重んじられた時代です。青銅の武器や器、玉器などから動乱の時代の齊魯文化を紹介します。



●打不鳴鐘【銅編鐘】(春秋時代)

●呉王夫差の剣(春秋時代)

漢帝国の東方世界 [漢代]

漢が中華世界を統一した後も、山東地域は東方の中心地として栄えました。墓に納められた明器や絹に描かれた絵などから当時の生活と思想を探ります。



●墓に納めた馬車の模型【陶馬車】(前漢)



●鈕が亀の形をした金印【関内侯金印】(前漢)



●玉で作った宝器【宜子孫玉璧】(後漢)

主な展示物

- テントを組み立てる金具【銅帷架構件】：戦国時代
 - 女郎山戦国墓出土の人形【彩繪樂舞陶俑】：戦国時代
 - 金雀山出土の絹に描いた絵【帛画】：前漢
 - 土器の棺おけ【陶瓮棺】：前漢
 - ゲーム盤を描いたレンガ【陶六博磚】：前漢
- など、一級文物(国宝)11点を含む日本初公開の文物72件168点を出品予定